

2021年5月6日

第24期生「在学中の教育に関する調査」結果



学校法人 日本赤十字学園
日本赤十字秋田短期大学

I. 調査概要

1.調査日：2021年3月8日

2.調査対象者：本学介護福祉学科2年次生20名 回収数（回収率）：19通（95.0%）

II. 調査結果

1. 調査対象者の属性

1) 性別

本調査に回答した2年次生（以下、「学生」）の性別は、女性13名（68.4%）、男性6名（31.6%）であった。

2) 入学試験の選抜方法

入学試験の選抜方法については、「指定校制推薦入学試験」（11名，57.9%）が最も多く、次いで、「一般入学試験」（5名，26.3%）、「公募制推薦入学試験」、「自己推薦入学試験」、「社会人・学士等入学試験」がそれぞれ（1名，5.3%）であった。

3) 本学へ進学してよかったか

「本学へ入学してよかったか」について、よかったと「思う」から「思わない」の4件で回答を求めたところ、「よかったと思う」（14名，73.7%）、「少し思う」（5名，26.3%）と回答した。

4) 卒業後の進路（表1）

卒業後の進路については、就業先として、「社会福祉法人」（13名，68.4%）、「民間企業（福祉・医療）」（2名，10.5%）、「医療法人」、「公的機関（福祉・医療）」、「家業を継ぐ」、「その他」がそれぞれ（1名，5.3%）であった。

表1.卒業後の進路（n=18）

就職先	人数	%	就職先	人数	%
社会福祉法人	13	68.4	家業を継ぐ	1	5.3
医療法人	1	5.3	公的機関（福祉・医療以外）	0	0
未定	0	0	公的機関（福祉・医療）	1	5.3
民間企業（福祉・医療）	2	10.5	民間企業（福祉・医療以外）	0	0
進学（含む編入学）	0	0	無回答	0	0
その他	1	5.3	合計	19	100.1

2.2 年次（この1年間）の学びについて

2年次に履修した科目の理解について、4件で回答を求めた（図1）。

理解できていると「思う」との回答が最も多かった科目は、「介護の基本Ⅲ（リスクマネジメント、感染予防他）」（16名、84.2%）、「医療的ケアに関する知識」（14名、73.7%）、「医療的ケアの技術」、「災害福祉論」（13名、68.4%）の順であった。

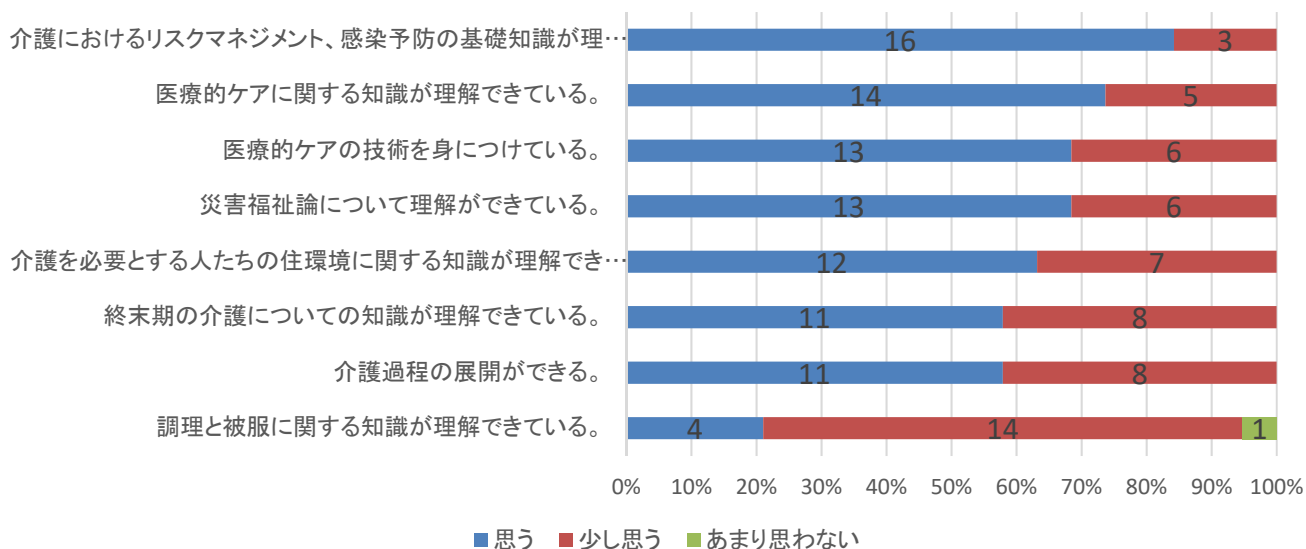


図1. 2年次に履修した科目の理解度 (n=19)

3. 授業への取り組み

3-1) 授業への普段からの取り組み

授業への普段からの取り組みに関する項目について、「あてはまる」から「あてはまらない」までの4件で回答を求めた（図2）。

「あてはまる」の回答が最も多かったのは、「履修登録した科目は途中で投げ出さない」（15名、78.9%）であり、次いで、「授業に必要な教科書、資料、ノートなどを毎回持参する」、「授業に遅刻しないようにする」（12名、63.2%）の順であった。

一方で、「あまりあてはまらない」の回答が多かったのは、「授業の予習をする」（10名、52.6%）、「グループワークやディスカッションでは、進んでまとめ役を行う」（7名、36.8%）の順であった。

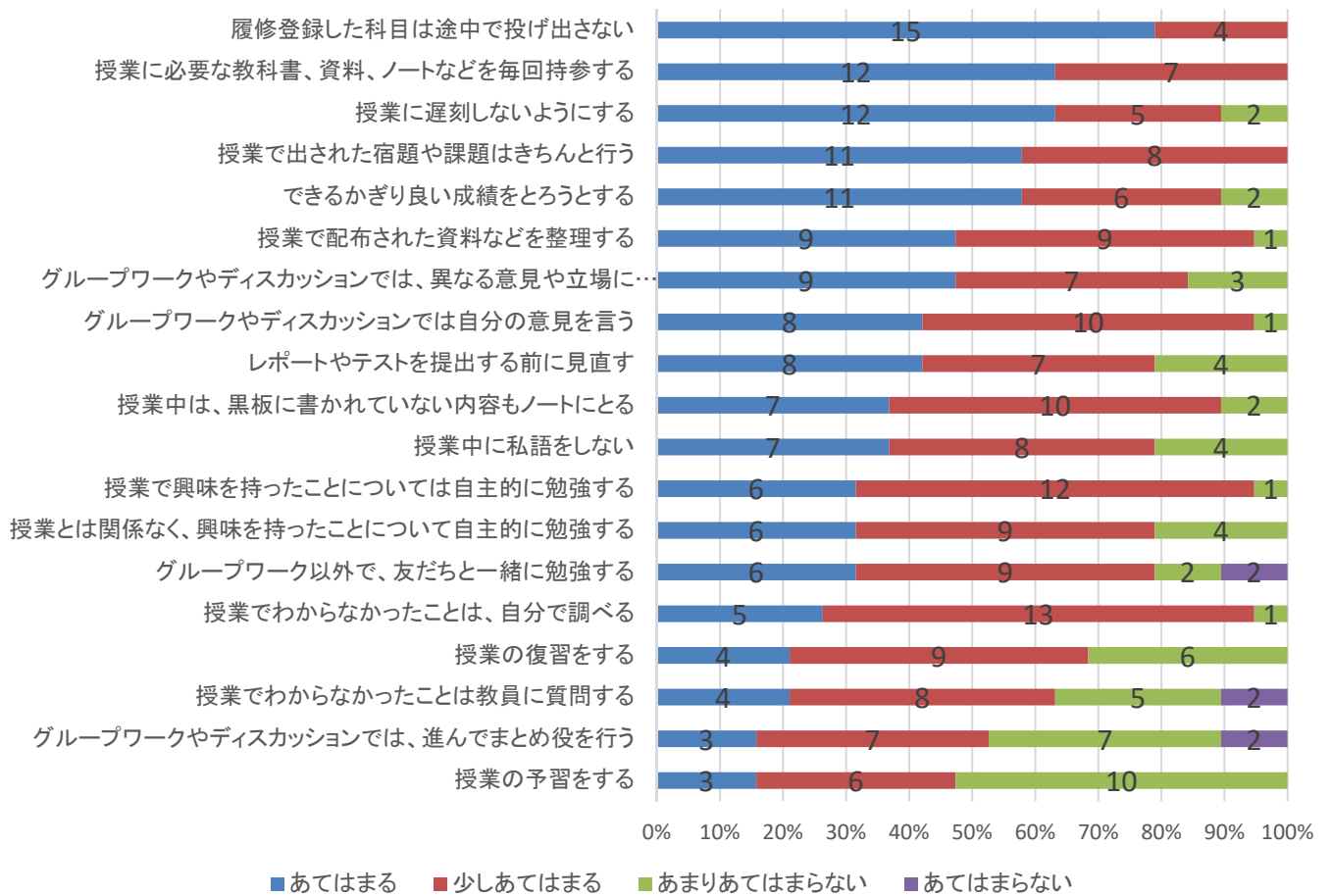


図 2. 授業への取り組み (n=19)

3-2) 1年次の時と比べての変化

現在の学習時間や授業への出席状況等の 8 項目について、1 年次生の時と比べてどのような変化があったのか回答を求めた (図 3)。

学習時間については、「提出課題 (レポート等) に取り組む時間」、「定期試験に向けての勉強時間」、「授業以外での勉強時間」について 6 割以上が「増えた」、「少し増えた」と回答していた。

授業への出席状況についての 4 項目では、「変わらない」と回答する学生が多かった。

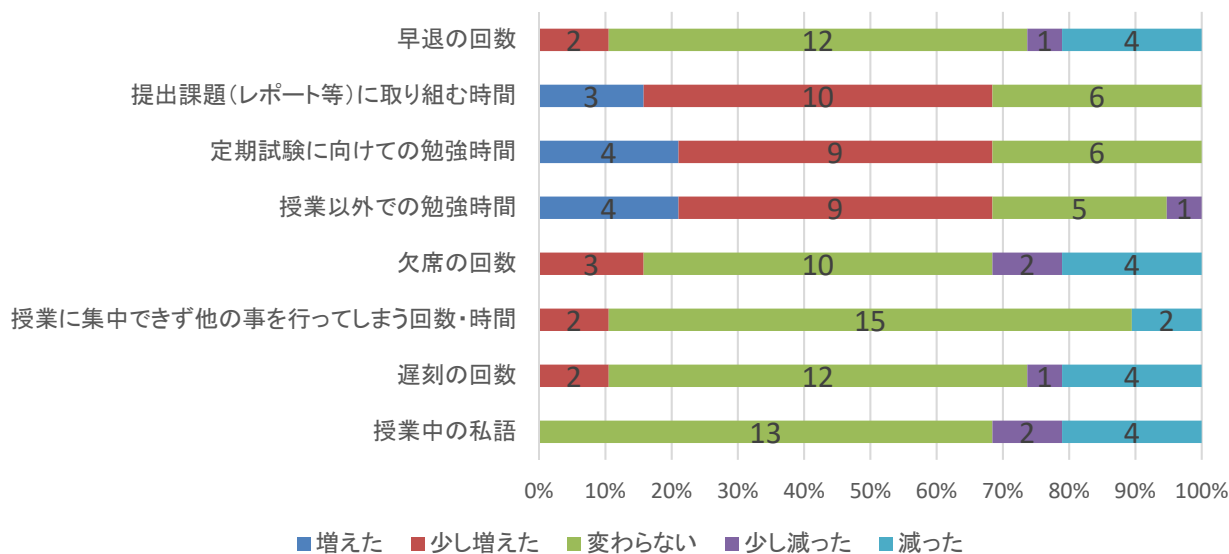


図 3. 1 年次の時と比べての変化 (n=19)

4. 社会人基礎力

本学での 2 年間の学びを通して基礎学力・専門知識、社会人基礎力の項目が身についているかどうかを「思う」から「思わない」までの 4 件で回答を求めた (図 4-1、4-2)。

4-1) 基本的な資質や能力・基礎学力・専門知識

社会人基礎力を生かす『人間としての基本的な資質や能力』、『基礎学力・汎用的能力』、『専門知識・スキル』、『意識・視野』の 4 領域のうち、全員が身につけていると「思う」と回答したのは、『人間としての基本的な資質や能力』領域の「他人に共感し、思いやる能力」であったが、「リーダーシップ」、「健康・体力・運動神経」については、「あまり思わない」(8 名, 42.1%) と回答する学生が他の領域に比べて多かった。

4-2) 社会人基礎力

社会人基礎力が本学での学びを通して身についたかどうかについて、90%以上の学生が身についたと「思う」、「少し思う」と回答した項目は、『アクション』の「主体性」、「働きかけ力」、『チームワーク』の「規律性」、「柔軟性」であった。

一方で、身についたと「あまり思わない」という回答が多かったのは、『シンキング』の「創造力」であった。

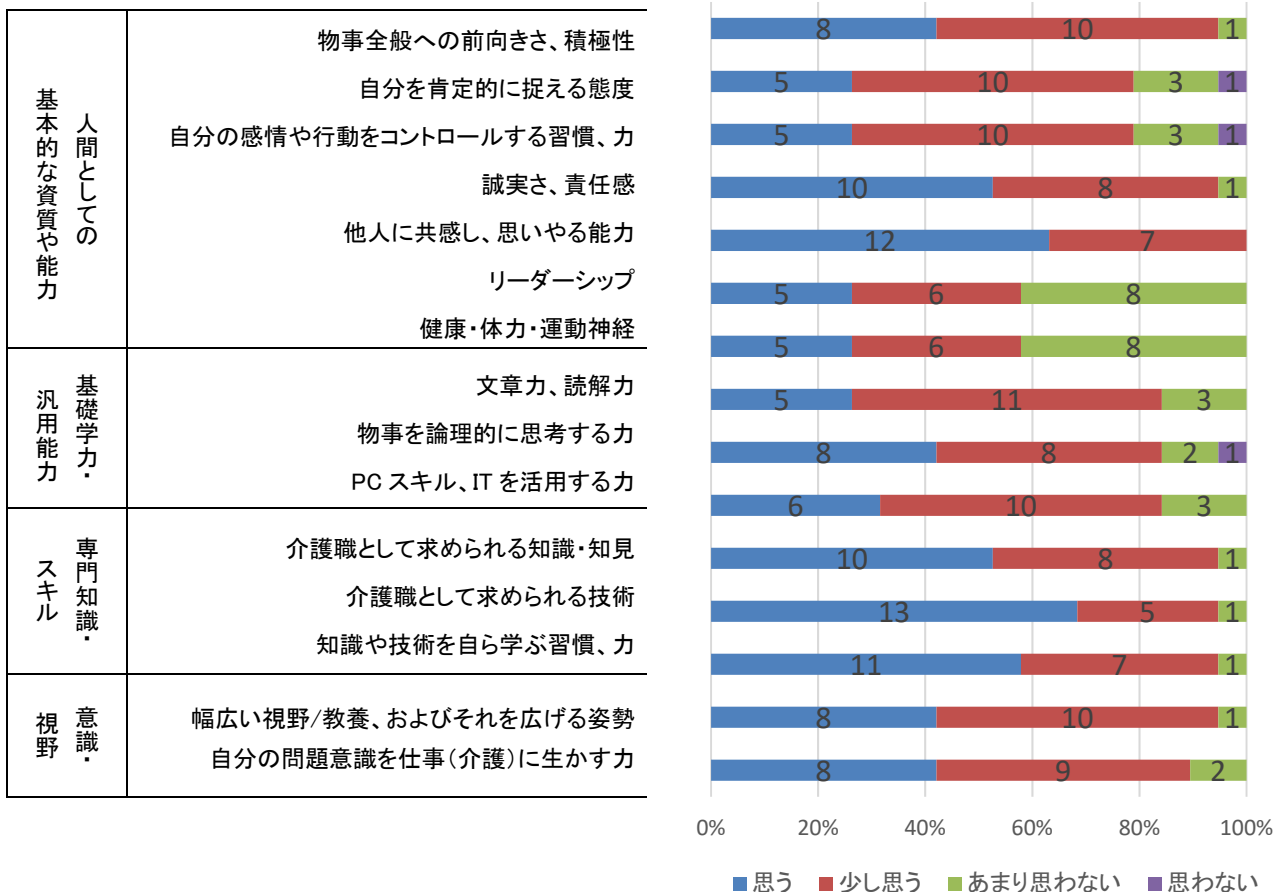


図 4-1. 基本的な資質や能力・基礎学力・専門知識 (n=19)

アクション	主体性	自ら目標を定め、それに向けてモチベーションを高める力、態度
		自分の意思で判断し、行動する力・態度
	働きかけ力	小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる
		「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく
実行力	失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さを持って取り組むことができる	
シンキング	課題発見力	目標に向かって、自ら「ここに課題があり、解決が必要だ」と提案する力
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
	創造力	複数のもの(もの、考え方、技術等)を組み合わせ、新しいものを作りだすことができる
既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える		
チームワーク	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える
	傾聴力	内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解することができる
	柔軟性	自分とは異なる意見であっても柔軟に合わせて思考・対応する力
	状況把握力	周りの人々の考えや置かれている状況を理解し、自らの役割を把握する力
	規律性	他人との間で決められた約束事や、社会的な常識、規律を守る習慣や態度
	ストレスコントロール力	ストレスとうまくつきあう力

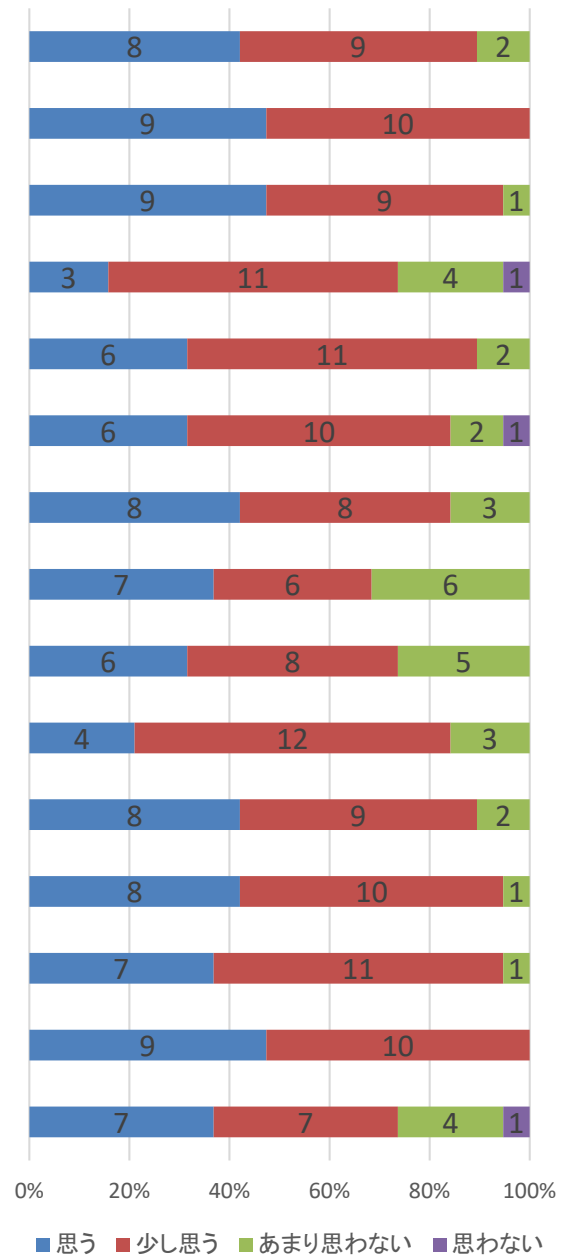


図 4-2. 社会人基礎力 (n=19)

5.現在の学習に関する到達度

現在の学習に関する到達度 16 項目について、「思う」から「思わない」までの 4 件で回答を求めた (図 5)。

「職務上知り得た個人の情報を守ることができる」、「チームワークを尊重することができる」、「他者への共感ができる」については、9 割以上の学生が「思う」、「少し思う」と回答した。

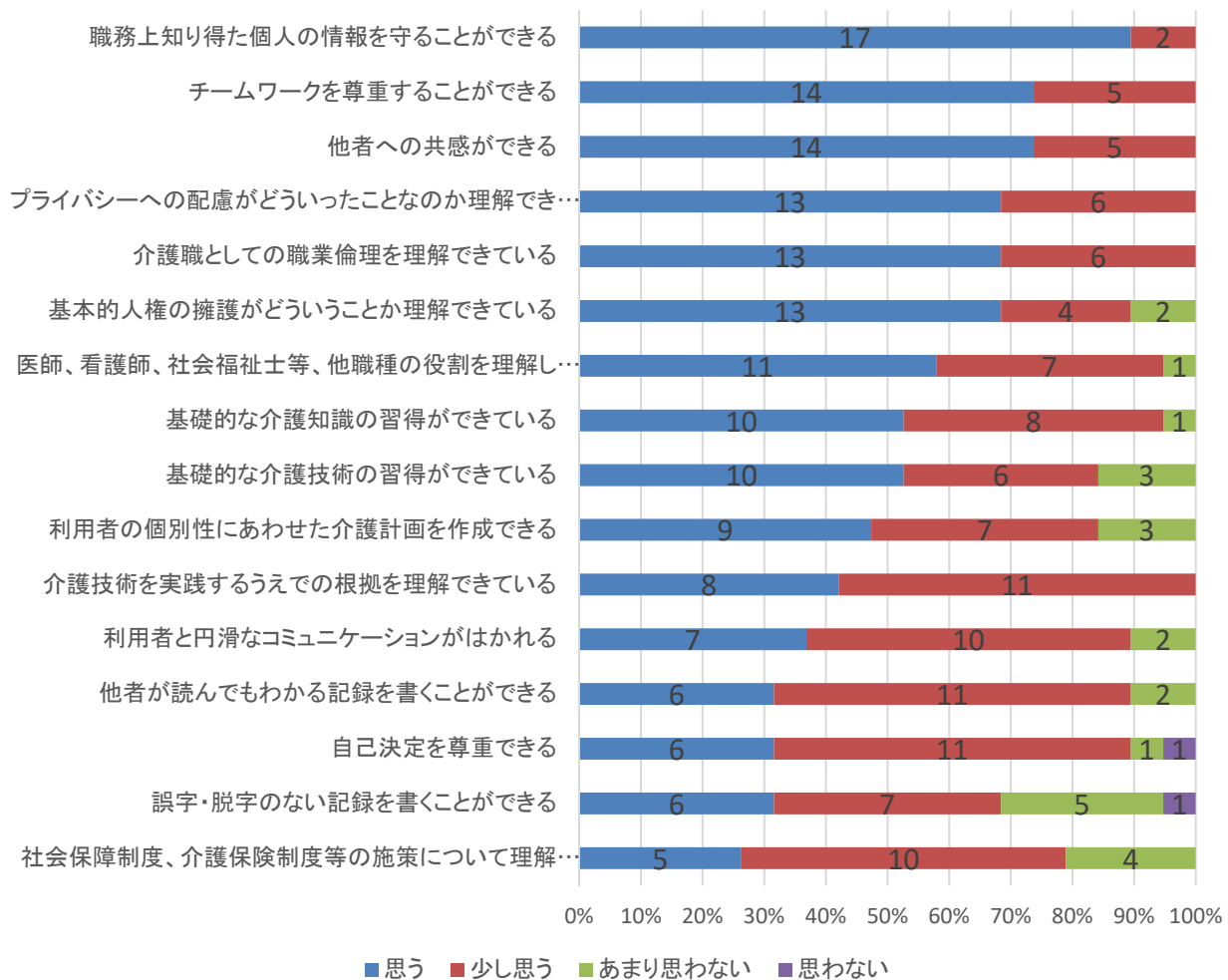


図 5. 資格取得時の到達目標 (n=19)

6. 卒業後に取得したい資格等

卒業後に取得したい資格等について複数回答にて回答を求めた (表 2)。

「介護支援専門員」(14名) が最も多く、次いで、「社会福祉士」(10名)、「精神保健福祉士」、「理学療法士」(3名) の順であった。

表 2. 卒業後に取得したい資格等

資格他	数	資格他	数
介護支援専門員	14	四年制大学への編入	1
社会福祉士	10	精神保健福祉士	3
認定介護福祉士	1	大学院への進学	0
認知症ケア専門士	1	その他	1 (言語聴覚士)
保育士	0	保健師	0
特になし	1	作業療法士	2
看護師	2	理学療法士	3

7. 介護職として働くことについて

卒業後、介護福祉士として施設・病院等で働く予定の学生を対象として、介護職として働くことに関する 11 項目について「思う」から「思わない」までの 4 件で回答を求めた（図 6）。

介護職として働くことへの心配事として「思う」との回答が最も多かったのは、「職場の上司と上手くいくか心配だ」、「職場の同僚と上手くいくか心配だ」（12 名，63.2%）であった。

また、介護職からの転職意向等に関する項目については、3 項目すべてにおいて 60%以上の学生が「あまり思わない」、「思わない」と回答していた。

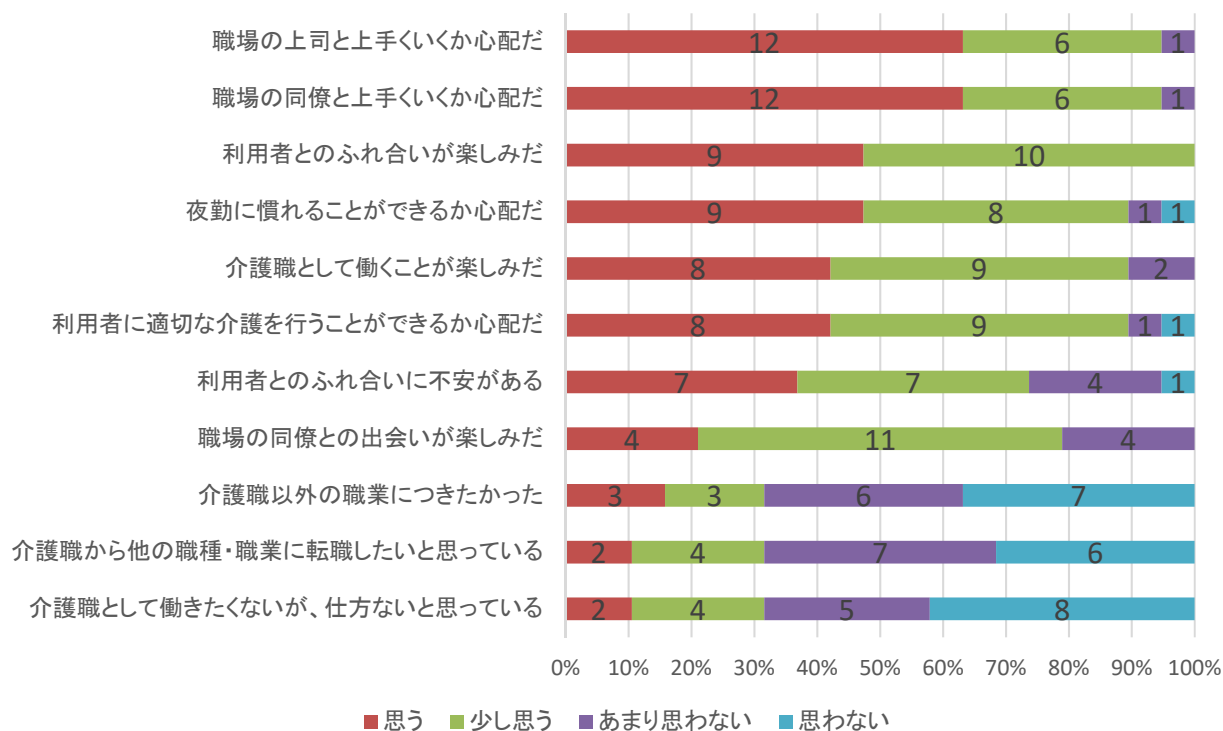


図 6. 介護職として働くことについて (n=19)